【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成27年9月3日(2015.9.3)

【公開番号】特開2014-50071(P2014-50071A)
【公開日】平成26年3月17日(2014.3.17)
【年通号数】公開・登録公報2014-014
【出願番号】特願2012-194038(P2012-194038)
【国際特許分類】
Ｈ０４Ｎ　5/232　(2006.01)
Ｈ０４Ｎ　5/225　(2006.01)
Ｇ０３Ｂ　19/00　(2006.01)
Ｇ０３Ｂ　15/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０４Ｎ　5/232　Ｚ
Ｈ０４Ｎ　5/225　Ｆ
Ｈ０４Ｎ　5/225　Ｚ
Ｇ０３Ｂ　19/00
Ｇ０３Ｂ　15/00　Ｂ

【手続補正書】
【提出日】平成27年7月15日(2015.7.15)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
複数の撮像手段を有する撮像装置であって、
前記複数の撮像手段によって得られた撮像画像間の重なり合う領域の量を導出する導出手段と、
前記導出手段による導出に基づいて、有効にする撮像手段を決定する決定手段と
を有することを特徴とする撮像装置。
【請求項２】
前記撮像装置の撮像状態および動作状態に応じて、前記複数の撮像手段を有効にする制御手段をさらに備え、
前記決定手段は、前記重なり合う領域の量と閾値との比較に基づいて、前記有効にする撮像手段を決定することを特徴とする請求項１に記載の撮像装置。
【請求項３】
フレーミング状態、撮像準備状態、または撮像状態の途中で、前記閾値を変更する閾値変更手段をさらに備えることを特徴とする請求項２に記載の撮像装置。
【請求項４】
前記導出手段は、前記複数の撮像手段のそれぞれで、上下左右の辺の撮像画像間の前記重なり合う領域の量を導出することを特徴とする請求項１から３のいずれか１項に記載の撮像装置。
【請求項５】
前記導出手段は、前記重なり合う領域の量が閾値より小さい場合に、前記複数の撮像手段から有効にする撮像手段を追加して、前記重なり合う領域の量を再度導出することを特徴とする請求項１から４のいずれか１項に記載の撮像装置。

【請求項６】
前記有効にする撮像手段に電力を供給する供給手段をさらに備え、
前記供給手段は、供給電力を最小限に抑制する手段を有し、前記有効にする撮像手段にのみ電力を供給することを特徴とする請求項１から５のいずれか１項に記載の撮像装置。
【請求項７】
複数の撮像手段を有する撮像装置の制御方法であって、
前記複数の撮像手段によって得られた撮像画像間の重なり合う領域の量を導出するステップと
前記導出に基づいて、有効にする撮像手段を決定するステップと
を含むことを特徴とする制御方法。
【請求項８】
コンピュータを、請求項１から６のいずれか１項に記載の撮像装置の各手段として機能させるためのプログラム。